

**1** 江戸時代から親しまれてきた遊びに「<sup>もんき</sup>紋切り遊び」があります。

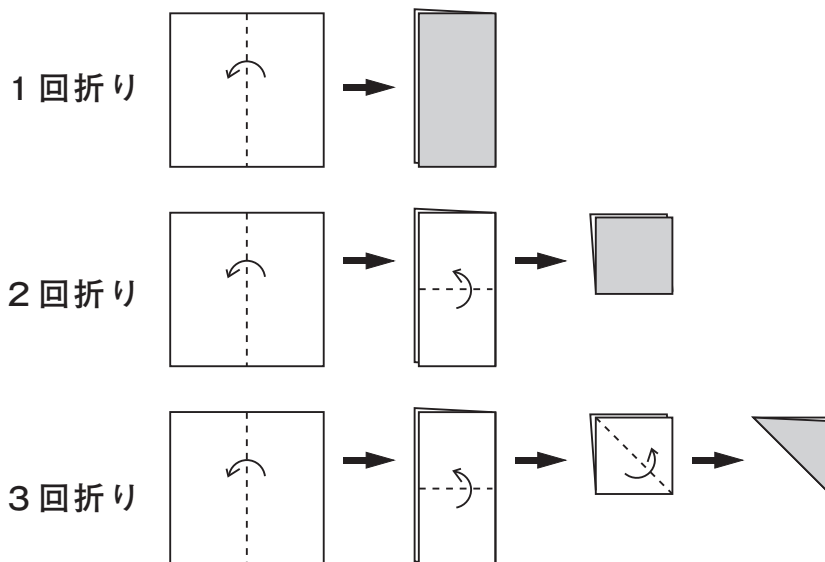
正方形の紙を何度か折り重ね、その紙を切って開くと、きれいな模様の切り絵ができます。

その遊び方には、次のようなものがあります。

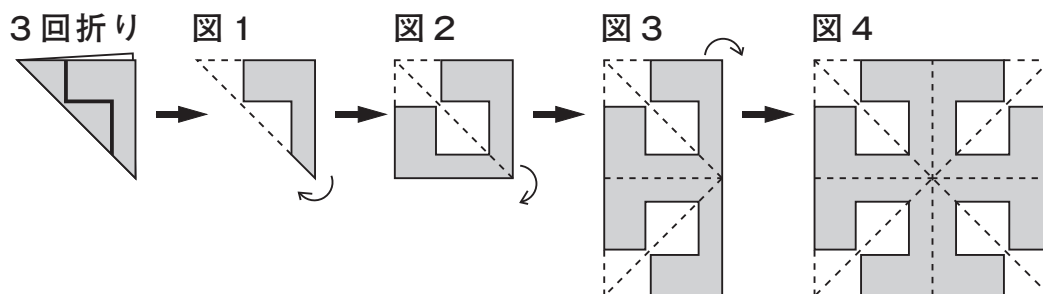


### 遊び方

正方形の紙を、下の図の1回折り、2回折り、3回折りのいずれかの折り方で折ります。

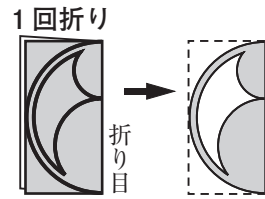


例えば、下の図の3回折りの紙を太線（——）で切り、図1から図2、図3のように順に開いていくと、図4の模様ができます。



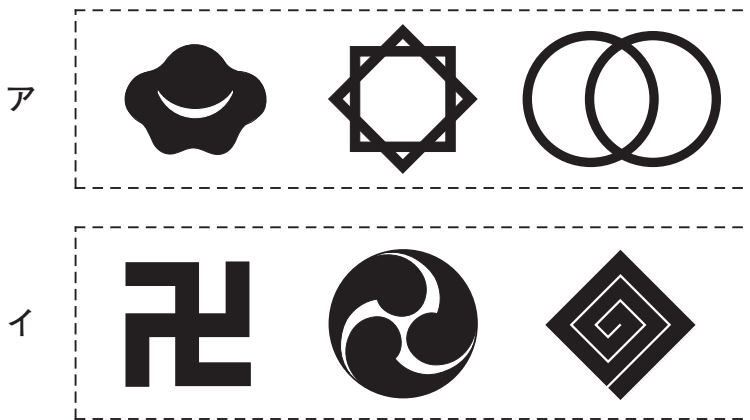
次の(1)から(3)までの各問いに答えなさい。

(1) 右の図の1回折りの紙を太線で切って開きます。このときにできる模様が、下のアからオまでの中にあります。それを1つ選びなさい。



(2) 「紋切り遊び」でできる模様を集めたグループは、下のア、イのどちらですか。それを選びなさい。

また、これらの模様を参考に、「紋切り遊び」でできる模様だけにみられる図形の性質を説明しなさい。



(3) 下のアからオまでの中に、3回折りの紙を切って開いた模様があります。それを1つ選びなさい。

